

類似品にご注意ください



A社製品
スルフォラファン(SGS)
100gあたり 40mg

類似品(他社製)

ブロッコリースプラウト

どれも同じ? 実は:

? 倍違います



村上農園製

スルフォラファン(SGS)
100gあたり 428mg

〈何が違う?〉

上の写真は、どちらもブロッコリースプラウトです。左が「村上農園」、右が他社製品。見た目にはほとんど違いがわかりません。しかし「村上農園」の「ブロッコリースプラウト」(発芽後1週間程度)、「ブロッコリースーパースプラウト」(発芽後3日程度)には、他社製品とは大きく異なる違いがあります。その理由をこれからご説明いたします。

〈誕生秘話〉

先端医学の著名な研究者である米国ジョーンズ・ホプキンス大学医学部のポール・タラレー博士は、有用成分である「スルフォラファン」をブロッコリーの中から発見し、それが体内で働くメカニズムを解明しました。しかしこの成分、通常のブロッコリーにはごく微量にしか含まれておらず、しかも品種によって大きく異なるので、どのようにしてスルフォラファンを高濃度化した野菜を作るかが最大の課題でした。そして永年にわたる研究の末に開発されたのが高濃度スルフォラファンを含んだ「ブロッコリースプラウト」、「ブロッコリースーパースプラウト」なのです。

〈スルフォラファンの量が重要〉

この研究成果が発表されると、全米はもとよりヨーロッパや日本でも、数多くのマスコミに取り上げられました。一方で、それをうまく利用しようとする人達も現れました。「ブロッコリーの新芽であれば何でも売れるだろう」と考える人々です。彼らは手当たり次第にブロッコリーの種子を輸入し、本物とよく似た製品を作り始めました。研究者でもそれを見ただけではどの程度のスルフォラファンが含まれているのかわかりません。しかし、成分を分析すれば一目瞭然。技術力が違うため、その量は少なく、中には全く含まれていないものまであったのです。

〈信頼のライセンス製品〉

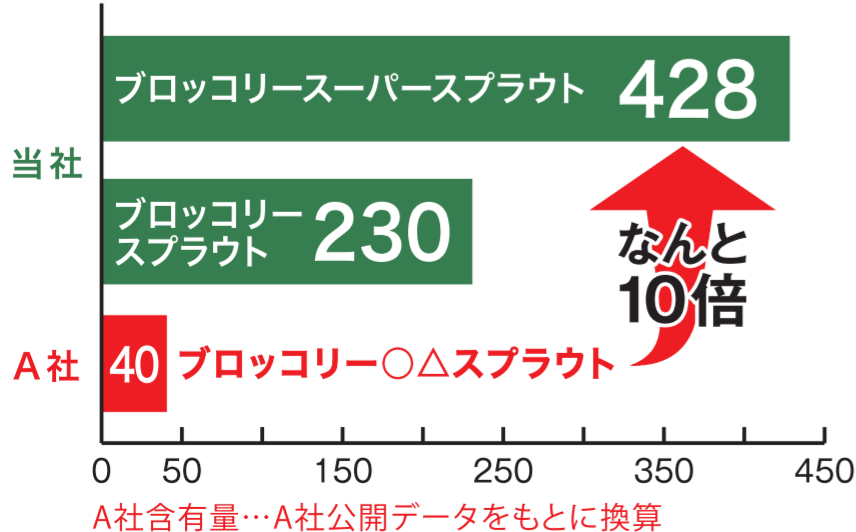
村上農園では開発者であるジョーンズ・ホプキンス大学と提携し、ライセンス契約を締結、1999年から高濃度スルフォラファンを含んだ「ブロッコリースプラウト」、「ブロッコリースーパースプラウト」を生産しています。この契約では高濃度スルフォラファンの製品をつくる栽培方法が定められており、定期的に成分量を自社と同大学でダブルチェックすることが求められています。そして、高濃度スルフォラファンを含んだ製品のみが付与される「本物」としての証が、同大学が認定した「ブラシカマーク」。これが成分量の違いを見分けられる唯一の方法なのです。



当社の「スルフォラファン研究所」にて含有量を定期的に測定

技術力が違います!

スルフォラファン(SGS)含有量(mg/100g)



高濃度スルフォラファン
本物の証
ブラシカマーク



1/パック 50g



ブロッコリー
スーパー
スプラウト

スルフォラファン(SGS) 100gあたり 428mg^{※1}



1/パック 約20g

ブロッコリー
スプラウト

スルフォラファン(SGS) 100gあたり 230mg^{※1}

※1 SGSはスルフォラファングルコシノレート(前駆体) 米国BPP社および自社調べ
株式会社村上農園 本社:広島市 生産施設:千葉、神奈川、静岡、山梨、三重、広島、福岡 関連会社:株式会社沖繩村上農園
【お問い合わせ先】お客様相談室 ■TEL:0120-883-862 ■Webサイトアドレス: http://www.murakamifarm.com

Web サイト

